

平成23年11月8日

議員 各位

桑名市議会議長 佐藤 肇

「不祥事再発防止」申し入れについて

みだしのことについて、先の競売入札妨害事件を受けて、先日11月4日に各派代表者会議を開催し、再発防止に向けた申し入れを行うことで決定したことから、下記の内容及び日程で市長に申し入れを行いますのでご丁承願います。

記

1. 日 時           平成23年11月9日（水） 午前8時30分
2. 場 所           市長応接室（3階）
3. 内 容           別紙のとおり

桑議発第 号  
平成23年11月9日

桑名市長 水谷 元 様

桑名市議会議長 佐藤 肇

### 競売入札妨害等の再発防止について

平素は議会運営について格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、平成23年10月28日の全員協議会において、市当局から建築住宅課職員が競売入札妨害事件により、愛知県警により2人目の市職員逮捕の報告を受けた。

全員協議会では、市当局は、桑名市不祥事再発防止対策計画書に基づき、不祥事防止に向け取り組んでいる最中に再び事件が起きたことについてお詫びと一日も早い市民の行政に対する信頼回復に努めていくとの説明があった。

市議会としては、市職員の度重なる不祥事が発生したことについて、非常に遺憾であり、誠に残念である。現在、愛知県警で捜査中であり事実関係が明らかになっていない状況であるが、このような事件の再発を防ぐためには、職員一人ひとりの意識改革や必要に応じた市組織の変革が重要であると考えている。

従って、本市議会は市長に対し、事件の再発防止等に向けた下記の事項について要望する。

#### 記

1. 入札・契約の競争性や透明性の確保、向上のため、より公正・透明で競争性の高い入札制度の構築に早急に取り組むこと。
2. 業者に対して、不正防止や企業倫理の向上のため、一層の取り組みを求めるとともに、不適切な行為に対する警告や取引停止などの厳しいペナルティを検討すること。
3. 公務員倫理・コンプライアンスの向上と徹底を図るため、公益通報制度の充実を図るとともに、職員倫理条例等のルールづくりについて検討すること。

## 付議事項

- 入札制度は永遠の課題である。透明性の確保から言えば、市民の目に触れやすい場所に予定価格、最低制限価格、入札価格等、専業ごとに公表していくことが望ましい。
- 最低制限価格制度を取り入れている場合、今回のような職員と業者との関係が問題視されている。従って、その当日の開札時まで最低制限価格が分からないような仕組みが必要である。
- 入札調査委員会では、5つ程の改革案が出ているが、どれも一長一短である。最低制限価格は、応札した業者の平均値とする仕組みが望ましい。
- 現在の「内部公益通報制度」であるが、特定の担当課長に通報することには問題があり、弁護士など独立した第三者機関を設置し、より通報しやすい制度にすべきである。
- 議会は政治倫理条例を制定したが、市長以下市職員も職員倫理条例の制定に向けて取り組むべきである。(市長等政治倫理条例の制定)